

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公開番号】特開2006-214533(P2006-214533A)

【公開日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2006-032

【出願番号】特願2005-28703(P2005-28703)

【国際特許分類】

F 16 C 33/54 (2006.01)

F 16 C 19/30 (2006.01)

F 16 C 33/34 (2006.01)

F 16 C 33/58 (2006.01)

【F I】

F 16 C 33/54 Z

F 16 C 19/30

F 16 C 33/34

F 16 C 33/58

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

【図1】本発明の実施例を示しており、(A)は円筒ころに対し保持器が軸方向一端側に、(B)は同じく他端側に、それぞれ変位し切った状態で示す部分断面図。

【図2】(A)は内径側係止部及び外径側係止部と円筒ころとの係合状態を示す、図1の(A)のa-a断面図に相当する模式図、(B)は中央係止部と円筒ころとの係合状態を示す、図1の(B)のb-b断面図に相当する模式図。

【図3】保持器の軸方向から見たポケットの形状を示す図。

【図4】本発明の対象となるスラスト円筒ころ軸受の1例を示す断面図。

【図5】従来構造の1例を示す、図1と同様の図。

【図6】(A)は内径側係止部及び外径側係止部と円筒ころとの係合状態を示す、図5の(A)のa-a断面図に相当する模式図、(B)は中央係止部と円筒ころとの係合状態を示す、図5の(B)のb-b断面図に相当する模式図。

【図7】保持器の軸方向から見たポケットの形状を示す図。

【図8】ポケットの外径側周縁部の摩耗状態を示す、図7と同様の図。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

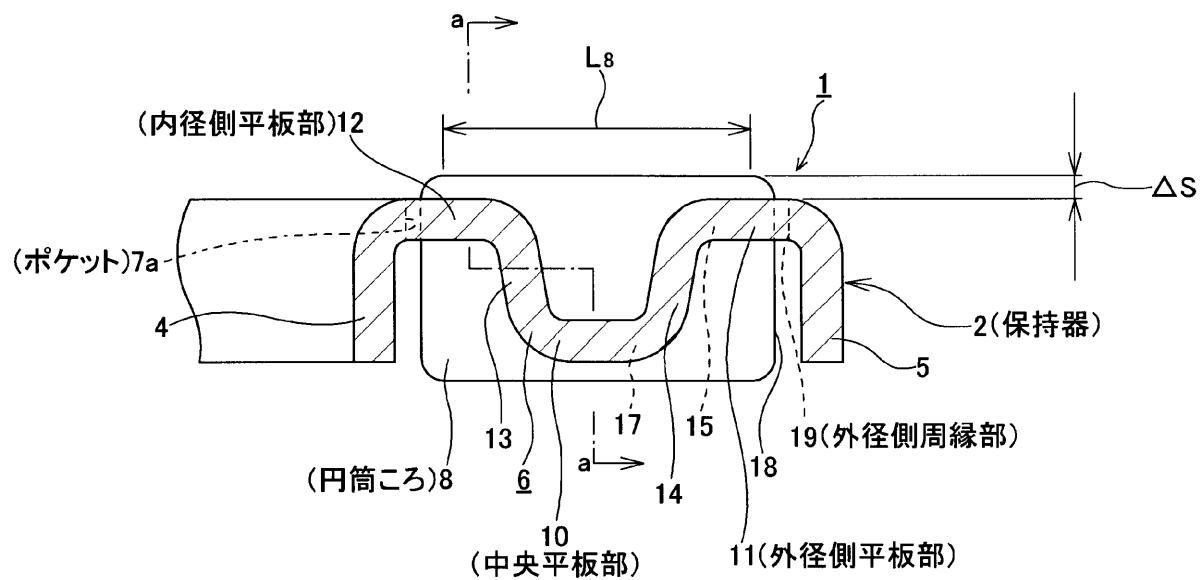
【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

(A)



(B)

